



SERVICE INFO



歯付きベルトドライブ用ベルトドライブテンショナー アウディ、セアト、シュコダ、VW、1.9 TDI エンジン搭載、1996 年以降

これまでのベルトテンショナー (LuK AS No.531 0275 30) に代わり、ベルト摩耗インジケータ付きベルトテンショナー (LuK AS No.531 0440 30) が提供されています。

影響を受けるエンジン：

1.9 TDI エンジン ID コード：

AGR, ALH, AHF, ASV

1.9 SDI エンジン ID コード：

AGP, AQM, ASY, AEY, AYQ

自動車メーカー：アウディ、セアト、シュコダ、VW

自動車およびエンジンの正確な割り当てについては、www.luk-as.de にあるオンラインカタログを参照してください。

必要なスペア：

No. 部品名称	LuK AS No.
1 カムシャフト	
2 アイドルローラー	532 0161 10
3 噴射ポンプ	
4 ウォーターポンプ	
5 アイドルローラー	532 0111 10
6 クランクシャフト	
7 アイドルローラー	532 0165 10
8 ベルトテンショナー	531 0440 30

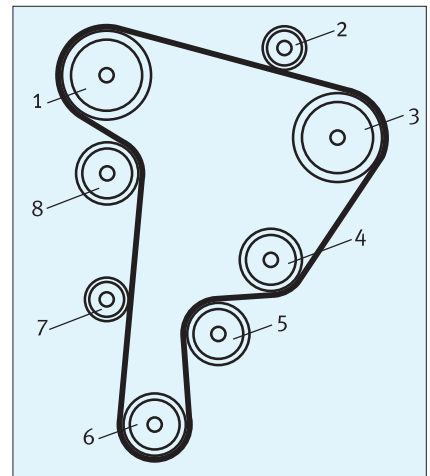


図 1

新しいベルトテンショナーは、以下のように、以前のベルトテンショナーと外観が異なります。



図 2



図 3

- ①：青いシールリング
- ②：薄い背面（銀白色から金色）
- ③：背面の短くなったスペーサー
- ④：ベルトテンショナーの偏心ディスクのクロスハッチング

新しいベルトテンショナーには、歯付きベルトの摩耗インジケータが付いています。

この摩耗インジケータは、張力を調整する切り欠きの隣ベルトテンショナーに刻まれたクロスハッチングで構成されています。

新しい歯付きベルトの張力は、ベルトテンショナーの 2 つの調整ノッチを切り欠きの方向にけることで、正しく調整されます。

歯付きベルトは運転中に徐々に伸びて摩耗します。ベルト



図 4

テンショナーは、この歯付きベルト「伸び」を吸収します。2 つの調整ノッチがクロスハッチングの方向に移動します。この摩耗インジケータが正常機能するためテンショナーは、歯付きベルトを必ず一緒に交換する必要があります。

歯付きベルトドライブ内のすべてローラーが時間の経過とともに摩耗することから、LuK AS はドライブキット (ドライブキット (LuK AS No. 530 0082 10、歯付きベルトを含む) の、使用を推奨します。OE 品質の新しい歯付きベルトが利用可能な場合は、ベルトドライブセット (LuK AS No. 530 0082 09、歯付きベルトなし) の使用を推奨します。

重要情報：

これらのエンジンは、タイミングを正確に設定する必要があります。わずかな違いでエンジンの破損につながる可能性があります。自動車メーカーの指示に従って、シリンダー 1 の TDC を設定することを重要です！



組立手順：組立手順：組立手順：

- ・エンジンはエンジンの回転方向（時計回り）にのみしてください。絶対にエンジンを反時計回りさないでください。
- ・エンジンが TDC 位置を超えた場合、絶対に「逆方向回さない」でください！エンジンを時計回りに 1 回転させ、再度 TDC 位置を設定してください。
- ・必ずクランクシャフトのスプロケットのセントラルボルトを使用して、エンジンを回してください。
- ・自動車メーカーの取外および取付手順を厳守してください。

歯付きベルトの張力の設定：

1. メーカーの指示に従って、カムシャフト、クランクシャフト、噴射ポンプの TDC 位置を確認します。
 - ・絶対に歯付きベルトを取り外した状態でエンジンを回さないでください。
 - ・古い歯付きベルトを取り外す前に、シリンダー 1 の TDC を設定してください！
2. 新しいベルトテンショナー、アイドルローラー、新しい歯付きベルトを挿入します。
 - ・エンジンプロックのベルトテンショナーの接触面をきれいにします。
 - ・歯付きベルトを取り付ける際は、工具（ドライバーなど）を使用しないでください。
歯付きベルトが破損します。
歯付きベルトに潤滑油を噴射しないでください。
 - ・ベルトテンショナーの固定ラグをタイミングケースの対応する穴に正しく装着する必要があります。組み立て中は、ベルトテンショナーの固定ラグが破損しないように注意してください。
 - ・エンジンプロックと完全に接触するまでベルトテンショナーを締め付けてください。締め付け後も、容易にベルトテンショナーを回し、張力を付与できるようにする必要があります。
3. 歯付きベルトに張力を付与します。
 - ・両方の調整ノッチが切り欠きと一直線になるように、専用工具を使用して歯付きベルトを回してください。
 - ・取り付けられている状態ではベルトテンショナーを十分に確認できないため、小さな鏡を使用して設定してください。



図 5
両方のノッチが切り欠きの内側にある状態（矢印）
この設定が適正です！

4. ベルトテンショナーを締め付けます。
 - ・ベルトテンショナーを 23Nm で締め付けます。トルクレンチを使用してください。固定ねじを締め付けすぎないでください。
 - ・専用工具を使用してベルトテンショナーを固定してください。
 - ・設定を確認し、必要に応じて正しく調整してください。



図 6
両方のノッチが切り欠きの外側にある状態（矢印）
設定を正しく調整する必要があります！

5. 歯付きベルトの張力を確認します。
 - ・すべての固定工具を取り外してください。
 - ・クランクシャフトを時計回りに 2 回転させてください。
 - ・メーカーの指示に従って、カムシャフト、クランクシャフト、噴射ポンプをシリンダー 1 の TDC に設定します。固定工具を差し込みます。
 - ・小さな鏡を使用して設定を確認してください。
 - ・ベルトテンショナーの 2 つの調整ノッチが切り欠きと一直線になる必要があります（項目 3 を参照）。ベルトテンショナーが正しく設定されていない場合は、設定（項目 3）およびテスト（項目 5）を再度行う必要があります。